

フランスの作曲家。ピアノ曲やオーケストラ曲で人気を博し、洗練された美しく繊細な書法は「スイスの時計職人」なども評された。几帳面な性格で、外出時には完璧で隙のない上品な身なりを心がけたという。そんなエピソードに呼応するように、彼の創作過程は詳細にされず、ラヴェルいわく「音符ひとつ記すことなく何年も心に抱き続け」ることがあるほど「長い懐胎期間が必要」だとし、いつもきちんと仕上げってから公開された。

繊細で几帳面なオシャレ番長

# モーリス・ラヴェル

Maurice Ravel (1875–1937)

B

2024, FEBRUARY

[第2006回]



スペインにほど近い、フランス領バスク地方のシブールにある生家と母親に想いをさせて——  
イラストレーション: ©IKE

## ラヴェルとスペイン

ラヴェルはパリで育ったパリっ子だが、両親が出会ったのは、お隣の国スペインでのこと。母親は母語のバスク語に加え、フランス語とスペイン語も流暢に話したという。ラヴェル自身はスペイン語を話さなかったようだが、母親が歌う子守歌や思い出話などから、スペインを身近に感じながら育ったことだろう。そんなラヴェルの作品にはスペインの要素が織り込まれた作品も多く、本日演奏される《スペイン狂詩曲》はその代表だ。